

月刊 KatsuMagazine

カツマガジン

2011年 6月号 vol. 3



CONTENTS

① 大型バイク奮闘記	1
② 「しくみ」にこだわる勝間の素顔	5
③ 雨でもできるインドアスポーツ	7
編集後記	9
勝間塾レポート（第2回月例会：5月20日実施）	10

テーマ1 大型バイク奮闘記

中型バイクに続き、大型バイクの免許も約2週間で教習を修了。乗り物好きな勝間のワクワクは、とどまることを知りません。さらには、運転免許統計からわかることや二輪と四輪の違いなど、いろいろなことも検証しています。

大型二輪、無事卒業しました。教習開始から2週間で修了。うれしい。

May 12, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/2-6e65.html>

3月の終わりに取った普通自動二輪免許に続いて、大型自動二輪免許も、無事、本日卒業検定に合格して、技能教習が修了しました。明日にでも、鮫洲免許センターで免許に付記してもらいます。

4月20日に教習所へ申し込みに行って、教習開始が4月29日、修了が5月12日ですから、約2週間ですべて終わったことになります。昔は「限定解除」ということで、何度も何度も運転免許試験場に足を運ぶ必要があったと聞いているので、なんか楽をしてしまったみたいで申し訳ない感じです。

もともと昨年末に電動原付バイクを買って公道を走ってみたところ、「これは、バイクの技能教習を受けないと死ぬかも」と思って、慌てて普通自動二輪の教習に行き始めたのが今年の3月。途中、東日本大震災を挟んで、普通自動二輪の教習は無事修了。半クラッチの要領がイマイチつかみきれないまま終わってしまって、Ninjaの運転にも不安感満載。

そこで、「そうだ、大型自動二輪の練習をすれば、Ninjaの運転もうまくなるかも」ということで、追加で大型自動二輪の教習にも申し込みました。

おかげさまで、教習所までのNinjaでの往復40キロメートルに加え、空き時間にせっせとキャンセル待ちをして、技能教習を詰め込んで12時間受けたので、さすがに半クラッチも小回りもできるようになりました。普通自動二輪ではあれだけ悩んだことが、練習を積むとできるようになる不思議さ。大型自動二輪は技能教習も卒業検定もストレートだったので、追加の支払いなし。びっくり。

その間、Ninjaくんは走行700キロメートルを超え、立ちゴケどころか、けっこうな細道でも坂道でも、問題なく走ることができるようになりました。

ほんの2ヶ月前まではクラッチ付きのバイクに乗ったこともなく、普通自動二輪の教習を受け始めても、ちっとも左回り・右回りができず、ガンガンとバイクを倒しまくって1段階は2時間追加、2段階もいつまでも左小回りができずに見極めて2時間追加、おまけに普通自動二輪の最初の卒業検定では、クランクで三角コーンに当たってこかして検定中止。

それが2ヶ月で、とにかく、毎日、毎日、なんとかバイクに乗っていたら、40の手習いでも、なんとかになってしまうものです。

そして、大型二輪のバイクも発注し、あとは納車を待つばかりです。マドンにNinja、そして新しいバイク、大好きなものに囲まれて幸せです。

ジム・ロジャーズの著書「インベストメント・バイカー」に憧れたのが15年前。それから15年後には、大型バイクの免許も無事取得し、ジム・ロジャーズさんとはメールのやりとりをしたり、Skypeの電話で話せる仲に。

今さらと思われるかと思いますが、やはり、「願ったことに向かって、コツコツと行動を繰り返せば、いつかはそこにたどり着く」のだと、つくづく思います。

そしてケガをしないよう、安全運転で自転車もバイクも、自動車もいきたいと思います。やればできる！



関連情報

- 15年来の友人のベテランライダーと、1200ccのバイクで富士山までツーリングに行きました。
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/21200cc340-10ed.html>

勝間はオートマバイクを欲しがっています。でも、なぜ、オートマなのでしょう？
実は、「バネ指」を発症していたからなんです。

- バネ指の発症
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-9ddd.html>
- そして、バネ指の治療と再発予防
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-c88e.html>
- バネ指その後
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-1528.html>

大型二輪免許の保有者、男性は1,067万人、女性は80万人。～運転免許統計より
May 10, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/106780-608d.html>

警察庁がまとめた運転免許の統計資料が面白いので、いろいろ眺めていました。

→ 運転免許統計(平成22年版) http://www.npa.go.jp/toukei/menkyo/menkyo13/h22_main.pdf

まず2ページは免許が重なっている人。例えば、普通自動車免許と普通自動二輪免許を持っていると、普通自動車免許の保有者数しか数えないので全体像がわかりにくいのですが、途中からすべて数えるものも出てきます。

そして、まず注目したいのが7ページの「男女別、種類別運転免許現在数の年別推移」です。

今、取ろうとしている大型自動二輪の免許保有者数の男女比は、びっくりするほど違いました。なんと、1,067万人対80万人。およそ13:1。

しかも、統計を見ると、大型二輪の保有者は男女共にどんどん減っているのです。おそらくこれは、普通自動車免許や自動二輪免許を取った人が、昔は自動的に大型自動二輪がついているものが多く、高齢者の方が免許更新をしなかったり、お亡くなりになったりする方が多いのではないかと推察しました。

それでは、新規にはどのくらい、大型自動二輪免許は交付されているのでしょうか。その男女比も見てみようと思いました。

すると、12ページと13ページに新規と併記のそれぞれの人数があるので、足し合わせてみると、平成22年度には以下のようになります。

男性 新規385人+併記73,781人
合計74,166人
女性 新規34人+併記5,428人
合計5,462人



あれ——、やはり12:1くらいだ。というか、新規も併記も少ない。女性は年間5,000人ちょっとだけ？

ちなみに、新規取得に関し、普通自動二輪免許はここまでの差はありませんが、それでも男女比は6:1くらいです。普通自動車免許で1.2:1くらい。

そして、25ページを見るとやはり私が懸念していた通り、普通自動二輪免許の指定教習所卒業者数は、特にこの数年、減っています。おそらく、2006年の排気ガス規制や騒音規制が影響しているのでしょう。

「なんで、バイクはデザイン・大きさ共に、男性向けばかりなのか」

というのがバイクを買いに行った時の素朴な疑問でしたが、ここまで市場の大きさが違うとなると、さすがにメーカーも女性専用は出しにくいでしょう。

そして、重くて大きくて扱いにくいから、また二輪市場に女性が参入しない。ほんと、ニワトリと卵の関係ですね。

スポーツタイプの自転車市場もそうですが、もう少し女性たちが二輪に積極的に乗るようになって、とりあえず、女性ユーザーの割合が12分の1とか、13分の1ではなく、せめて5分の1くらいになってくれると、身長158センチメートルの私としては、市場が大きくなってうれしいと思います。

そのうち、女性向けの「二輪(自転車とバイク)の勧め」みたいな本を書こうかなあ。

再び、二輪に乗って初めて、四輪との違いがわかること。

May 11, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-ab68.html>

以前、二輪と四輪の違いについて、視界の広さの違いをこちらのブログに書きました。

→ <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/04/post-f3f4.html>

今日は1日雨だったので、普段は原付やNinjaで通っている教習所まで、乗用車で往復してきました。するとやはり、さまざまな面白い気づきが。以下、忘れないうちに書いておきます。

その1 四輪の方が、(私にとっては)道がわかりにくい

二輪だと、交差点名や建物の雰囲気ですぐにわかるので、ナビをつけていなくてもあまり道に迷いませんが、四輪だと視界が限られるため、意外と案内板を見逃したり、間違った交差点を曲がりそうになりました。

その2 四輪の方が、駐車場への駐車が大変

二輪で駐車をする時には、だいたい手で押しているし、あまり入れ替えることはありません。よく見えるし、スペースもたくさんあるので、切り返しをせずともさくっと入ります。

ところが、今日、教習所の乗用車用の駐車場がかなり狭くて、前後左右、何度も切り返ししながら、なんとかスペースに収めました。右も左も後ろも、「もうすぐぶつかるかも」という障害物感知センサーが「ピーピーピー」というアラーム音を鳴らすので、もう、ドキドキでした。もう一度は、正直、やりたくないです。

その3 ウィンカーを戻さなくていいのは、四輪の方が便利

二輪はなぜか、左右のウィンカーを手でキャンセルします。四輪は自動で戻ります。あと、二輪は左でウィンカーを操作しますが、四輪は国産車なので右側です。そして今日も、朝一番、左に曲がろうとしてウィンカーを出そうとしたら、うっかり左手で操作して、元気にワイパーが動きました。うーん、やはり混乱します。

その4 渋滞疲れは、圧倒的に四輪の方が楽

何しろ、四輪は自立しますから、渋滞に遭遇してもアクセルとブレーキを交互に踏むだけ。ところが、二輪はいつも足を着かなければいけないし、クラッチ操作は頻繁に出てくるし、イメージでいうと、四輪なら4キロメートルくらいの渋滞は何ともありませんが、二輪だと渋滞が1キロメートルなくても「疲れたー」という感じです。だから、みんな、すり抜けとかしたくなるのですね。

そうはいつでも、やはり悪天候時の二輪は滑って危険。なるべく、安全を心がけて、交通手段を選びたいと思います。



テーマ2 「しくみ」にこだわる勝間の素顔

自らを“おちゃらけ社会派”と名乗る人気ブロガー「ちきりん」と、「変化の時代の乗り切り方」というテーマで対談を行いました。勝間は「しくみで乗り切る」ことを主張しています。では、なぜ「しくみ」なのでしょう？

5月21日放送、

勝間和代のUstreamぶっちゃけトーク「変化の時代の乗り切り方」～
「ゆるく考える(ちきりん)」VS「しくみで乗り切る(勝間)」

May 21, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/521ustream-vs-c.html>

不定期でお送りしている勝間和代のぶっちゃけトーク、こちらはなかなかメディアの表層には現れにくい事実や考えを、識者の方を招いて行うトークです。5月のゲストは、人気ブロガーのちきりんさん。いったいちきりんさんが、なぜ、人気が高いのか、そして、どの部分を皆に訴えかけているのか、勝間とは何が共通で、何が異質なのか、たっぷりと2時間お話ししましたので、ご覧ください。



ちきりんさんとの対談は、こちらからどうぞ。

<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/521ustream-vs-c.html>

関連情報

- ちきりんさんのブログ & Twitter
<http://d.hatena.ne.jp/Chikirin/>
<http://twitter.com/#!/insidechikirin>
- ちなみに、勝間は約1年ほど前から、いろいろな場面でUstreamを活用してきました。始めるきっかけとなったイベントがこちら。
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/03/ustream328-9ab9.html>

努力が続かないし、根性がないので、しくみに頼ります。

January 17, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/post-3b79.html>

ちょうど、親友のらみさんが、こんなTweetをしていました。

「世間的には誤解が多いですが、@kazuyo_k(勝間のTwitterユーザー名)という人は、呆れるほど気合や努力をしない人です。相当、参考になると思いますよ。RT @aisu_dog: 気合で動いてないで生きてる人からコツきいて、観察して真似しよう」

はい、ぴんぽーん、です。もう、10年来の付き合いのらみさんは、よくご存じ！

何しろ、地道な努力とか、まったく続きません。決めたことも、気合いがすぐ切れるので、だいたい3日坊主で終わります。私の親友も、私の家族も、弊社の人たちも、すごーくよくわかっています。

なので、なるべーく、努力をせずにできる方法を追求します。だから、食器洗い乾燥機も自動掃除機ルンバも大好きです。電子書籍の自炊も、なるべく楽な方法、楽な方法をと探します。困ったときには、とりあえず、検索して試行錯誤をして、それでもだめなら、さっさと専門家のところへ持ち込んだり、相談して解決します。

運動も続かないので、トレーナーに頼ります。自転車もすぐ根性が切れるので、電動と普通の自転車を使い分けています。そういえば、ネイルも続いているのは、ネイリストさんにお任せだからですね。

ゴミ捨ても、収集が曜日指定のところに住んでいた時は、どんどんたまってしまいうので、今はゴミが365日捨てられるマンションに住んでいます。

携帯の電池の充電もすぐに切らしてしまうので、USB給電の電池をいくつも持ち歩いています。

Twitterも普通の画面では面倒で続かないので、Fix HootSuite (HootSuite用ユーザースクリプト)・HootSuite (ブラウザ上で動作するTwitterクライアントサービス) に頼ります。

自分がどれだけ、怠惰で“地道な努力”が苦手か、ということを前提に行動しています。待ち合わせも私が時間通りに行くと、驚かれますから……。それくらい、実は時間管理もさほど得意でないので、仕組み作りに熱心になっています。

一事が万事、そんな感じです。



関連情報

勝間が語る、手間をかけない仕組みや便利アイテムを少しご紹介します。

- ポイントはいかに手間暇かけないかということ～
Sonyのブックリーダーを使った自炊に関するいくつかのTips
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/01/sonytips-6387.html>
- エネループのUSB出力付リチウムイオンバッテリーKBC-L2BSは優れたもの
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2010/11/usbkbc-l2bs-ea3.html>



恋愛経済学

1,365円

勝間の初の恋愛本。プライスレスな恋愛の仕組みを解明した1冊。巻末の、秋元康氏との緊急対談は必読です！



高学歴でも失敗する人、学歴なしでも成功する人

777円

ストリート・スマートカは訓練で身に付くものと考えた勝間が、頭のいい人たちの「秘密」をまとめた1冊です。

楽天ブックス 勝間和代特集

<http://books.rakuten.co.jp/event/book/business/katsuma-kazuyo/>

テーマ3 雨でもできるインドアスポーツ

関東はもう梅雨の季節ですが、勝間はインドアスポーツのスカッシュに夢中です。ただ今、学生時代からの目標である、公式戦での1勝を目指して練習中。さらには毎日、スポーツクラブで運動をしようと決めました。その理由は……

スカッシュの日本女子チャンピオン、 小林海咲さんとスカッシュを打つことができました。幸せ。

May 03, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-dd7c.html>

私は人に笑われるくらい、やたらとはまっている趣味が多いのですが、そのうちの1つが「スカッシュ」です。

学生時代、スカッシュサークルだったのがきっかけで、それから断続的にスポーツクラブで打っています。マッキンゼーの入社試験の初日も、スカッシュラケットを担いで面接に行ったのを思い出します。

最近、リビエラというスポーツクラブで、週に2～3回、練習しています。もともとは違うスポーツクラブにいたのですが、スカッシュコートがあるという理由で、以前いたスポーツクラブを退会してリビエラの会員になったくらいです。

そうしたら、私がスカッシュ好きだということを漏れ聞いて、Twitterで日本女子チャンピオンの小林海咲さんが「よかったら、一緒に打ちませんか？」と声をかけてくれました。

私のような下手の横好きにとっては、プロ選手のプレイは超憧れです。目の前で、そのプレイを見ることができるなんて、至福です。

小林さんはマレーシア在住ですが、競技その他で東京に戻る時があるということ。普段は小林さんと一緒に練習している、元日本代表スカッシュプレイヤーの丹埜倫さん所有の南房総のコートで打っているそうなのです。しかし、「さすがに、すぐに南房総へは行けないなあ」と思ったら、リビエラに丹埜さんと一緒に来てくださることに。

私だけではもったいないので、リビエラのスカッシュ仲間に声をかけて、2時間ほど、小林さんと丹埜さんを囲んでゲームと練習を行わせていただきました。

いやもう、プロはすごい。体のしなやかさやフットワークがすごい。球がどこへでも自由自在に飛ぶ。小林さんと丹埜さんの試合は、ものすごかったです。二人ともどこでも拾うので、ラリーが続いてなかなかショットが決まらない。そこに会心のショットが入って、あるいは相手の逆をついて、ようやく決まるくらいです。



私も1ゲームだけ、小林さんと打たせてもらいました。ハードショットをしないし、コート隅にも打たないようにしてくれている小林さんに、もちろん、3-11で完敗です。



いやもう、決めました。スカッシュを毎日練習します。ちょうど最近、オートバイの特訓で自転車に乗る機会が半分以上になって体がなまっていたので、もう、必ず、そうします。

小林さんとのツーショットも撮っていただき、むちゃくちゃ、ヤル気ができました。頑張ります。

あと、集合写真の方で気づかれた方がいるかもしれませんが、コンプライアンスの専門家で、弁護士の郷原信郎さんも実はスカッシュプレーヤー。一緒に、いい汗をかきました。

次は丹埜さんの南房総のコートに、250ccバイクのNinjaくんツーリングがてら、ぜひ、スカッシュを打ちに行きたいと思います。



ちなみに、丹埜さんは、私の慶應義塾大学のスカッシュサークルの後輩だそうで、私が在籍していたことも、もちろん、知っていたそうです。公式戦で1勝もできなかった先輩としては、穴があったら入りたい気分でした。

小林さんと1ゲームしただけで、息は上がり足もガクガクでしたが、ほんとうに至福でした。やはり、「公式戦で1勝する」という目標に向けて、コツコツと引き続き、頑張りたいと思います。

それには、バックハンドの奥のショットを取れるようにしないと。頑張ります。継続は力なり。

渥美さんをはじめとした、南青山リビエラスポーツクラブの皆さま、今回のさまざまなご配慮、ありがとうございました。

関連情報

- この記事のアップ翌日、勝間はNinjaで南房総のサンセットブリーズ保田へ初ツーリングを敢行しました。
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/ninja200-467f.html>
- 勝間は後日、小林さんのコーチを受けるために、再度、サンセットブリーズ保田へ。レッスンの感動をまとめた記事もあわせてお読みください。
<http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-74ce.html>
- スカッシュ日本女子チャンピオン小林海咲さん公式ブログ
<http://m40.jp/misaki/>
- 元日本代表スカッシュプレーヤー 丹埜倫さん所有の南房総のコート（南房総サンセットブリーズ保田内）
<http://sunsetbreeze-hota.com/activity/index.html>

毎日、何かの運動をするということ。

May 06, 2011 <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/private/2011/05/post-dd15.html>

末娘が中学生になり、起床が30分ほど早くなりました。加えて、皆さんもご存じの通り、バイクの免許も取りました。

これを機会に、これまで週2～3回だった朝のスポーツクラブ通いを、原則、土曜日以外の各曜日に見ようかと思っています。

理由はなぜかという、運動に1時間(あるいはそれ以上)投資をすることで、明らかに、残り時間の体力・気分、そして肩腰の疲れが格段に違うからです。

家でも運動はできるのですが、どうしても、他の誘惑(読書とか、仕事とか、映画鑑賞とか、新聞読みとか)が多くて、なかなか運動に集中できません。しかし、スポーツクラブへ行ってしまうと、それ以外のことはできません。これまで、スポーツクラブには自転車で通っていました。でも、うちからの道のりだとかかなりのアップダウンがあり、トレーニングにはなったのですが、1時間の運動のために自転車で行く50分近く、連続する坂道を息切れしながら走って行くというのが、なんとなく私の心の中の「メンタル・アカウント(心の会計)」に合わずに、毎日というわけにはいきませんでした。

ところが、250ccバイクNinjaくんの練習を兼ねてだったら「毎日でもいいかなあ」という感じです。課題は、例によって駐輪場。スポーツクラブの駐輪場所がありますが、そのままNinjaくんを置いて出掛けることもありそうなんです。でも、スポーツクラブに置いていくのは忍びなく、コインパーキングかどこかに移さないと、と思います。

そして、すべてNinjaにすると体力がまた落ちそうなので、ロードバイクのマドンの日、Ninjaの日と、上手に使い分けたいと思います。

「半年くらい続けると、効果があるかなあ」と思っています。いろいろな出来事が重なると、新しいことを試すことができてうれしいです。



REAL-JAPAN.ORG

言論プラットフォーム『REAL-JAPAN』へ
勝間が寄稿した記事もお読みください。
<http://real-japan.org/>

- 震災を奇貨とするために大人は子どもたちの育成に全力を尽くそう～被災地支援を通じた気づき
<http://real-japan.org/2011/05/28/503/>
- 浜岡原発に関し、中部電力に直接質問した内容をまとめ報告します。
<http://real-japan.org/2011/04/28/484/>
- 郷原信郎さんと語る、大震災とコンプライアンス
Vol.1 <http://real-japan.org/2011/04/26/420/> Vol.3 <http://real-japan.org/2011/04/26/448/>
Vol.2 <http://real-japan.org/2011/04/26/445/> Vol.4 <http://real-japan.org/2011/04/26/452/>

編集後記

KatsuMagazine(カツマガジン)6月号は、「大型バイク奮闘記」をメインでお届けいたしました。いかがでしたか? 中型バイクに引き続き、大型バイクの免許も取得した勝間は、自分の大型バイクの納車が待ちきれずに1200ccのバイクをレンタルし、富士山までツーリングに出かけました。スカッシュは、日本チャンピオンの小林海咲さんと出会ったことで、秋のマスターズ大会で1勝するという当面の目標を立てました。将来の目標は50代女子の部で優勝すること。勝間のことから、スポーツクラブに通うための仕組みをさらに充実させ、優勝を目指して、8年間コツコツと打ち続けることでしょう。楽しみです。

発行元/ 株式会社 監査と分析
発行日/ 2011年6月3日

ビジネス思考を大量に疑似体験することで、
ビジネスに使えるスキルを身につける

受講生が学びを共有する
「コミュニティ」も大盛況!



ケーススタディマラソン

「刑事ドラマのアイデアを作る」「電子書籍のビジネスモデルを考える」といったテーマをもとに、ビジネス思考力を身につけます。

まずは無料お試し版をご体験ください

毎月届くオーディオブック&テキストで、「わかる」から「できる」を仕組み化します
http://www.katsumaweb.com/modules/case/index.php?content_id=1

2011年5月20日(金)、「勝間塾」の第2回月例会が開催されました。今回のテーマは「情報収集」。会員スペシャルコンテンツ「新・“自分をグーグル化する方法” 2011年版」です。当日の内容をダイジェストでお届けします。

勝間和代と “学び”を共有する学舎 **勝間塾**

成功とは卓越した情報収集スキルによって、自分に根拠ある自信が持てること

成功とは、「自分の欲求が満たされている状態」を指します。では、「自分の欲求」とは、何でしょうか。「自分には価値があり、尊敬されるべき人間である」と思えることです。これを、「自尊感情」といいます。「自尊感情」を高めるには、周囲の人が持っていない情報やスキルを持つことが必要です。なぜなら、周囲の人が持っていない情報やスキルによって、周囲の人たちの役に立つことができるからです。

周囲の人の役に立てるようになると、「あなたがいてよかった」と感謝してもらえるようになるし、「あなたの情報やスキルを、お金を払ってでも欲しい」と思ってもらえるようになります。そうすると、結果的に、ある程度のお金を短時間で得ることができるようになり、時間にも余裕ができるようになります。この状態を客観的に見ると、「成功している」ということになるのです。

それでは、周囲の人が持っていない情報やスキルを持つためには、どうすればいいのでしょうか？ いくつかポイントがありますが、最も大切なのは、無意識層による情報処理のスキルを高めることだと、私は考えています。なぜ、無意識層による情報処理のスキルを高めることが必要かというと、物事の判断は、ほとんど無意識層によって行われているからです。私は、30代半ばになってから、このことにはじめて気づきました。

例えば、テニスを例にとって考えてみましょう。どんなに、机上で本を読んで勉強しても、それだけで試合に出たら、ガタガタになってしまいますよね。ボールが来た時に、無意識に身体が反応するくらいまで日々練習を重ねることによって、はじめて知識が自分のものになったといえるわけです。情報処理についても、同じです。いくら机上で知識を意識層にインプットしても、身体が覚えるくらいまで繰り返し練習しなければ、知識を活用することはできません。ですから、情報処理のスキルを高めるには、学んだことを日々の行動・口ぐせ・考え方などに落とし込むことによって、無意識層に押し込んでいくことが必要なのです。

次の月例会は
6月20日!

勝間塾 第3回 月例会

テーマは **クリティカルシンキング**

日時：2011年6月20日（月）19:00～20:40

会場：直接お知らせします



月例会は、インターネット中継でのリアルタイム受講や、ダウンロード資料（オーディオブックとテキスト）での受講も可能です。会員専用のコミュニティもご利用いただけます。

勝間塾へのお申し込みを希望される方は、
こちらの詳細ページをご覧ください。
<http://www.katsumaweb.com/juku.htm>